

アークフラッシュされた全国48箇所の老人施設は9年間インフルエンザの発症が報告されておりません。

< * > <http://www.arc-flash.co.jp> アークフラッシュ NEWS をダウンロードによりご覧頂けます

カナダから帰国した大阪府の男子高校生ら3人が新型インフルエンザに感染していた問題で、厚生労働省は10日、3人と同じ航空機に乗り、停留措置が取られていた別の男子生徒が、新型インフルエンザに感染していたと発表した。男子生徒は感染者3人の同行者で、国内感染者は4人目。同じ便に搭乗していた他の帰国者の中で、感染者が発生する恐れも出てきた。9日夜に千葉県衛生研究所が行った遺伝子診断「PCR」で陽性反応が出たため、国立感染症研究所で再度検査を実施。10日朝、新型と確定した。男子生徒はタミフルの投与を受け、熱は36.7度にまで下がっているという。厚労省によると、この男子生徒は、濃厚接触者として宿泊施設に留め置く停留措置の対象になった49人のうちの1人。機内検疫の健康状態質問票には「症状なし」と回答していた。しかし、停留中の9日午後、38度台の発熱などの症状を訴え、同様に体調不良を訴えた生徒6人とともに千葉県内の病院に救急搬送されていた。ほかの6人はPCRの結果、新型感染は否定された。10日も再検査したが陰性だった。

米ニューヨークから帰国した高校の生徒2人が新型インフルエンザに感染していることが判明した洗足学園(川崎市高津区)の前田隆芳校長らがは21日午前、学内で会見し、「(最寄り駅の)溝の口から学校までの通学路には民家もあり、小さい子供さんもいるので、近隣に迷惑を掛けないためにも休校にした」と説明した。学校には感染を心配する電話も数十件あったという。

世界で感染が広がる中、生徒らを渡航させたことについて前田校長は「国連の担当者から、インフルエンザの件で模擬国連をキャンセル理由はないといわれた。渡航期間の短縮も考えたが、飛行機の便が取れないため、予定通りの日程で行った」と釈明。

渡航前には渡航する生徒の母親らと保護者会を開き、この時期に米国に行くことについて意思の確認をしたところ、6人全員の保護者から「こんな機会はめったにないので、ぜひ、行かせてほしい」と言われたという。学校の説明によると、感染した生徒の1人はリムジンバスや東急田園都市線を使って帰宅したという。会見で前田校長は「一般の方にご迷惑をかけることになり、大変申し訳ない。中止という判断もできたが、生徒たちの模擬国連にかける準備、情熱を見ていたら行かせたかった」と陳謝。八王子市の生徒からは母親を通して「テレビを見て、今、騒いでいる張本人が自分であるということを大変申し訳なく思います」という言葉があったという。

また、学校には数十件の電話があり、中には「自分の子供も同じ田園都市線で通っている。もし、うちの子が感染したらどう責任取ってくれるのか」という内容もあったという。

マスク

思い出します 2003 年の事を！！SARSが東南アジア、中国、台湾を襲い国中、街中がパニック状態の中、台湾、中国、シンガポールと訪問し、アークフラッシュの施工を続けた事を！！マスクが不足、不足し一枚 200 円で売る業者も出るほど。

そんな状態の中、1000 万枚を台湾と中国に寄付しました。中国では寄付した物を売ってしまったようです。台湾では一部を今後の対策として無料の倉庫に確保してくれました。今回、そのマスクを緊急に搬出してくれるように手配いたしました。航空便で運ぶために運賃、関税が多少高くなりますが、このNEWSをみている企業からの問い合わせが相次ぎケース単位で準備して頂いております。5 月 22 日現在で搬入量の半分の予約を頂いております。1 ケースに 3 枚 1 組で 3750 枚入っているようです。1 枚当たり 35 円程度になりますが希望者にはケース単位でお分けいたします。ノークレーム、ノーリターンをお願いします。以前にSARSが下火になったら、色々とクレームを付けて返品された苦い経験からご理解ください。

*** 発行責任者:株式会社アークフラッシュ本部**

笹川 透

03-5337-8860 FAX 5337-7465 sasagawa@arc-flash.co.jp

過去のアークフラッシュ NEWS はホームページよりご覧になれます。